



HyperFlex Edge アップグレード

- [概要 \(1 ページ\)](#)
- [4.x 展開向けHyperFlex Edge およびファームウェア互換性マトリックス \(2 ページ\)](#)
- [vSphere Web クライアントを使用した 2.1 以前のリリースからの HyperFlex Edge のアップグレード \(3 ページ\)](#)
- [HX Connct を使用した 2.5\(1a\) 以降のリリースからの HyperFlex Edge のアップグレード \(4 ページ\)](#)
- [Cisco Host Upgrade Utility ツールを使用したサーバファームウェアのアップグレード \(5 ページ\)](#)
- [Cisco IMC Supervisor を使用した Cisco UCS C シリーズ サーバのファームウェアの更新 \(6 ページ\)](#)
- [HyperFlex Edge のアップグレード後の作業 \(7 ページ\)](#)

概要

このセクションでは、Cisco HyperFlex Edge システムのアップグレードに関連する情報を提供します。



重要

- HyperFlex Edge システムをアップグレードするには、分割アップグレードのみを使用します。コンバインドアップグレードは使用しないでください。
- HyperFlex Edge システムをアップグレードする場合は、HX ConnectUI から HyperFlex Data Platform をアップグレードすることだけが可能です。UCS サーバファームウェアのオプションは選択しないでください。代わりに、Host Upgrade Utility (HUU) ツールまたは統合管理コントローラ (IMC) スーパーバイザを使用して個別にファームウェアのアップグレードを実行します。

4.x 展開向けHyperFlex Edge およびファームウェア互換性マトリックス

Cisco HX データ プラットフォーム リリース 4.x に基づく導入

サーバのコンポーネントファームウェアが、次の表に示されている最小バージョン以上であることを確認します。



重要 HyperFlex Edge は、Cisco IMC バージョン 4.0 (4a)、4.0 (4b)、4.0 (4c)、4.0 (4d)、および 4.0 (4e) をサポートしていません。

表 1: HX220c M4/HXAF220c M4 クラスタ

コンポーネント	ファームウェアの推奨バージョン - HXDP 4.x *(上記の重要な注意事項を必ず確認してください)
BIOS	4.0.2 d. 0
Cisco Integrated Management Controller (CIMC)	4.0 (下半期)
SAS HBA	13.00.00.12
VIC 1257	4.3 (2b)
SSD	0103 (東芝) CS07 (Intel 480)
HDD	CN03 (Seagate) CK03 (Seagate 1.8) CK03 (Seagate 2.4) sF3Q (Samsung) 3F3Q (Samsung)
Host Upgrade Utility (HUU) ダウンロードリンク	4.0 (下半期) ソフトウェアのダウンロード

表 2: HX220c M5/HXAF220c M5 クラスタ

コンポーネント	ファームウェアの推奨バージョン - HXDP 4.x *(上記の重要な注意事項を必ず確認してください)
BIOS	C220M5 4.0.4o.0.1112191020
Cisco Integrated Management Controller (CIMC)	4.0 (4i)
SAS HBA	09.00.00.08
VIC 1387	4.3 (3b)
VIC 1455 および 1457	5.0 (3e)
SSD	G201CS01 (Intel) 0104 (東芝) 0107 (東芝)
HDD	2F3Q (Samsung) 3F3Q (Samsung) NOA4 (Seagate) CK03 (Seagate 1.8 Tb) CK03 (Seagate 1.8 Tb)
Host Upgrade Utility (HUU) ダウンロードリンク	4.0 (4i) ソフトウェアのダウンロード

vSphere Web クライアントを使用した 2.1 以前のリリースからの HyperFlex Edge のアップグレード

HyperFlex Data Platform の 2.5(1a) より前のバージョンからアップグレードする場合は、次の手順に従います。

ステップ 1 ブートストラップを実行して Cisco HX Data Platform プラグインをアップグレードします。[手動ブートストラップアップグレードプロセス](#)を参照してください。

- 重要**
- ブートストラップ ファイルをコントローラ VM の /tmp ディレクトリに必ずコピーしてください。
 - 必ず、vCenter の [管理 (Administration)] > [クライアント プラグイン (Client Plug-Ins)] ページでプラグインのバージョンを確認してください。

- ステップ 2** ブートストラップされたストレージコントローラ VM でスナップショットスケジュールを無効にします。コマンド `stcli snapshot-schedule --disable` を実行します。
- このスクリプトは、コントローラ ノードの 1 つで実行するだけで十分です。
- ステップ 3** 管理者クレデンシャルを使用して vSphere Web クライアント プラグインにログインします。
- ステップ 4** HX Data Platform のみの分割アップグレードを実行します。
- ステップ 5** アップグレードが完了したことを確認します。詳細については、[HyperFlex Edge のアップグレード後の作業 \(7 ページ\)](#) を参照してください。
- ステップ 6** 同じコントローラ VM でスナップショット スケジュールを有効にするには、`stcli snapshot-schedule --enable` コマンドを実行します。

HX Connct を使用した 2.5(1a) 以降のリリースからの HyperFlex Edge のアップグレード

現在の HX Data Platform バージョンの 2.5(1a) 以降のリリースから HyperFlex Edge システムをアップグレードするには、次の手順に従います。



- (注) Intersight 経由で展開された HX Edge クラスタは、Hyperflex Connect から機能をアップグレードしません。アップグレードは、Intersight でのみサポートされています。

- ステップ 1** ブートストラップを実行して Cisco HX Data Platform プラグインをアップグレードします。詳細については、「[手動ブート ストラップアップグレードプロセス](#)」を参照してください。

重要 ブートストラップファイルをコントローラ VM の `/tmp` ディレクトリに必ずコピーしてください。

- ステップ 2** HX Connect にログインします。

- ステップ 3** ナビゲーション ペインで、**[Upgrade]** を選択します。

- ステップ 4** **[Select Upgrade Type]** ページで、**[HX Data Platform]** のみを選択します。**[Continue]** をクリックします。

- ステップ 5** **[Enter Credentials]** ページで、次のフィールドに値を入力します。

HX Data Platform のアップグレード

UI 要素	基本情報
Drag the HX file here or click to browse	<p>「Download Software - HyperFlex HX Data Platform」から、前の <code>release.tgz</code> を使用した既存のクラスタをアップグレードするための Cisco HyperFlex Data Platform アップグレードバンドルの最新パッケージファイルをアップロードします。</p> <p>サンプル ファイル名の形式: <code>storfs-packages-3.5.2 a-31601. .tgz</code>.</p>

UI 要素	基本情報
現在のバージョン	現在の HyperFlex Data Platform のバージョンが表示されます。
Current cluster details	HyperFlex クラスタの詳細 [HyperFlex version] および [Cluster upgrade state] がリストされます。
Bundle version	アップロードされた HyperFlex Data Platform のバージョンが表示されます。
(任意) [Checksum] フィールド	MD5 チェックサム値は、アップグレードパッケージがダウンロードされた場所と同じ /tmp ディレクトリにある別個のテキストファイルに保管されています。 このオプションステップは、アップロードされたアップグレードパッケージバンドルの整合性を検証するのに役立ちます。

vCenter クレデンシャル (vCenter Credentials)

UI 要素	基本情報
[User Name] フィールド	vCenter <admin> ユーザ名を入力します。
[Admin Password] フィールド	vCenter <admin> パスワードを入力します。

ステップ 6 [Upgrade] をクリックします。

ステップ 7 [Upgrade Progress] ページの [Validation Screen] に、実行中の検査の進行状況が表示されます。検証エラーがある場合は修正します。アップグレードが完了したことを確認します。

Cisco Host Upgrade Utility ツールを使用したサーバファームウェアのアップグレード

次の表で、Cisco HX サーバのサーバファームウェアアップグレードのワークフローの概要を説明します。

ステップ	説明	参照先
1.	ノードを HX メンテナンスモードにします。 (注) アップグレード中にクラスタをオンラインのままにするには、ノードを一度に1つずつアップグレードします。	HX クラスタの vMotion の設定の確認 Cisco HyperFlex のメンテナンスモードの開始
2.	Host Upgrade Utility ツールを使用してサーバファームウェアをアップグレードします。	『Cisco Host Upgrade Utility User Guide』の「Updating the Firmware on Cisco UCS C-Series Servers」を参照してください。
3.	ノードを再起動して再び ESXi にします。HX メンテナンスモードを終了します。	Cisco HyperFlex のメンテナンスモードの終了
4.	クラスタが完全に正常な状態になるまで待機します。	HyperFlex クラスタのヘルスの表示
5.	ローリング方式で、残りの HX ノードに対して手順 1～4 を繰り返します。 (注) クラスタ内の次のホストをメンテナンスモードにする前に、正常な状態かどうかを必ず確認してください。	

<https://www.cisco.com/c/en/us/support/servers-unified-computing/ucs-c-series-rack-servers/products-user-guide-list.html> 『に Cisco Host Upgrade Utility User Guide』の最新のリリースと過去のリリースがあります。

Cisco IMC Supervisor を使用した Cisco UCS C シリーズサーバのファームウェアの更新

Cisco IMC バージョン 2.0(x) にアップグレードする場合、デフォルトの Cisco IMC パスワードを変更する必要があります。



- (注) Cisco IMC Supervisor をアップグレードする前に、ファームウェア プロファイルがすでに設定されている場合は、Cisco.com クレデンシャルとプロキシの詳細が設定されていることを確認してください。

ステップ 1 [Systems] > [Firmware Management] を選択します。

ステップ 2 [Firmware Management (ファームウェア管理)] ページで、[Firmware Upgrades (ファームウェア アップグレード)] をクリックします。

ステップ 3 [Run Upgrade] をクリックします。警告メッセージが表示され、選択したサーバのアップグレードを実行すると、ホストがリブートしてファームウェアのアップデートツールが起動することが通知されます。ファームウェアのアップデートが完了すると、サーバがリブートして元のホスト OS が起動します。

ステップ 4 [OK] をクリックして確定します。

ステップ 5 [Upgrade Firmware (ファームウェア アップグレード)] 画面で、次のフィールドに入力します。

フィールド	説明
[Select Profile] ドロップダウン リスト	ドロップダウンリストからプロファイルを選択します。
[Platform] フィールド	[Select] をクリックして、リストからサーバを選択します。選択したプロファイルで設定されているプラットフォームに一致するサーバだけがリストに表示されます。
[Image Version (イメージバージョン)] フィールド	
[Image Path (イメージパス)] フィールド	
[Schedule later] チェックボックス	このチェックボックスをオンにして、アップグレードを実行する既存のスケジュールを選択します。[+] アイコンをクリックして新しいスケジュールを作成することもできます。

ステップ 6 [Submit] をクリックします。

HyperFlex Edge のアップグレード後の作業

アップグレードが完了して HyperFlex Edge クラスタがアップグレードされた後、vCenter からログアウトして再びログインし、アップグレードによる変更を確認します。

ステップ 1 HX ノードが、期待されるファームウェアバージョンに一致することを確認します。

IMC Supervisor GUI でファームウェアバージョンをチェックして、正しいファームウェアバージョンであることを確認します。

ファームウェアバージョンを表示するには、IMC Supervisor GUI で、[Systems] > [Firmware Management] タブに移動します。詳細については、『[Upgrading Firmware using IMC Supervisor](#)』を参照してください。

ステップ 2 SSH を介していずれかのコントローラ VM にログインします。

```
# ssh root@controller_vm_ip
```

ステップ 3 HyperFlex Data Platform のバージョンを確認します。

```
# stcli cluster version

Cluster version: 2.5(1c)
Node HX02 version: 2.5(1c)
Node HX01 version: 2.5(1c)
Node HX03 version: 2.5(1c)
```

ステップ 4 HX ストレージクラスタがオンラインであり、正常な状態であることを確認します。

```
# stcli cluster info|grep -i health

Sample output:
healthstate : healthy
state: healthy
storage cluster is healthy
```

ステップ 5 データストアが稼働中であり、ESXi ホストに適切にマウントされていることを確認します。

HX コントローラ VM から次のコマンドを実行します。

```
# stcli datastore list
```

ESXi ホストから次のコマンドを実行します。

```
# esxcfg-nas -l
```

ステップ 6 使用するブラウザ インターフェイスごとに、キャッシュを空にしてブラウザ ページをリロードし、HX Connect のコンテンツを更新します。
